

平成19年度 事務事業評価表		担当	都市開発部 都市計画課				内線等	1302
事務事業名	開発事務事業				事業コード	5 . 義務的事業		
根拠法令等	都市計画法・建築基準法				A 法令			

総合計画での位置付け

基本目標	2 . 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	市街地整備
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び市民代理人（建築家、不動産業、コンサルタント関連業）
手 段	総合土地利用計画と法規制により、無秩序な市街化を防ぐことで
想定する成果	計画的、段階的に良好な市街地の整備を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
許可件数	7件	106,602㎡	11件	90,768㎡	8件	16,000㎡
相談件数・面積	6件	21,000㎡	7件	12,300㎡	7件	10,000㎡
件数・面積計	13件	127,602㎡	18件	103,068㎡	15件	26,000㎡

成果指標

成果指標名	1日当たり許可・相談件数	1件当たりの平均開発面積
成果指標の説明	許可・相談件数/年間日数（255日）	許可・相談面積/許可・相談件数

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		0.05件				0.07件				0.06件			
成果指標		9,816㎡				5,726㎡				1,733㎡			
事業費	事業費	0				0				0			
	人件費	7,784				7,810				7,061			
	(人数)	正規	1.0	非常勤	0.0	正規	1.0	非常勤	0.0	正規	0.9	非常勤	0.0
	合計	7,784				7,810				7,061			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	7,784				7,810				7,061			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	都市計画法などの法令等の改正や社会状況の変化等により、開発許可の適正な運用を維持していく必要がある。
経済効率性	3	3	3	3	開発許可申請の指導及び相談であるので人件費以外の事業費はない。
事務効率性	2	3	2	2	各施設毎に管理者が異なり、協議及び持ち回りに時間を要するが、組織上やむを得ない。
必要性	-	3	-	3	義務的事业
小計	8	12	8	11	
施策への貢献度	2	-	2	-	秩序ある土地利用を図るため、開発指導を行なうことにより市内における無秩序な開発を防止する。
合計	10	12	10	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	乱開発を防止するため法的規制を加え、許可制度とした開発許可制度については、良好な市街地の計画的、段階的な整備を図るために必要かつ効果的な制度である。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
公共の福祉、特に安全及び防災上の観点から、愛知県が定めた開発基準に基づき、公共施設の管理者としての指導基準を設け、良好な都市環境と都市機能を計画的に整備する。
上記改善点の実施状況
開発事務の許可は愛知県であるため、事務所との連絡等を密に行い、指導及び助言を受けるとともに勉強会等に積極的に参加し早期の情報の収集を図るとともに、開発許可に係る問題事例の対応について情報交換を行っている。

今後さらに改善すべき点

関係各課との連携を高め審査の期間の短縮と専門性の高い指導の強化を図る。

平成21年度予算に反映する項目

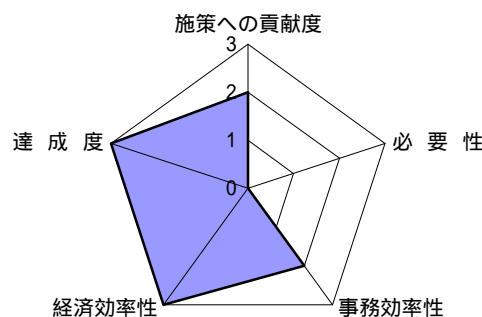
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点